

第3回 全校研究会

「多様な児童生徒に自分らしい社会貢献を実現する授業」

～学習評価をとおして多様な児童生徒の幸せに生きる力を育む～

1学期終了目前の7月19日、第3回全校研究会を行いました。代表クラスの発表を事前視聴という形でYouTubeの限定公開にて教職員で共有し、当日の前半は神戸親和女子大学の武富先生の御講評から始まりました。感染症対策のため、各会場に分かれてリモートにて行いました。



後半は、グループに分かれて分散会を行いました。今年度の研究テーマを踏まえて、「2学期の単元計画の中で子ども達のどのような『成長や変容の姿』を想定しているか」について協議しました。また、それぞれ出た意見の共通点を見つけ、ポイントとしてまとめて発表し、各会場で共有しました。



【第3回全校研究会の感想】



子ども達がねらいを達成した姿を具体的に考え、計画の段階で目標を明確化しておくことを大切にしていきたいと思いました。また、道徳の視点にも改めて意識を向けることができました。



役割を「与えられる」から「自分で選択する」など、同じ活動の中でも変化させながら取り組むことを、自身の実践でもいかしていきたいと思いました。